



大神神社の大鳥居の近くに鎮座する綱越神社の本殿

桜井市三輪で

大神神社摂社 延喜式にも

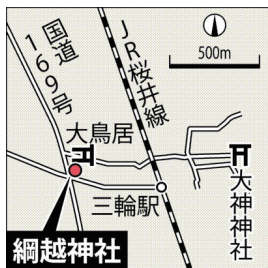


(住所) 桜井市三輪大鳥居1-168
 (祭神) 祓戸大神
 (交通) JR三輪駅下車、西へ徒歩
 約10分

(拝観) 境内自由
 (駐車場) 有り(大神神社運営で、
 初詣時期以外は無料)
 (電話) 0744・42・6633

綱越神社は、親しみを込めて「おんばらさん」と呼ばれます。「おんばら」は「御抜い」が変化したもので、拜殿には「おんばら社」と書かれた額が掲げられています。

大神神社の摂社で、平安時代の「延喜式神名帳」に記載された古社です。御祭神は祓戸大神



綱越神社 (桜井市)

で、大鳥居の南の参道の入り口に鎮座します。江

戸時代までは、大神祭の前日に神主らが初瀬川で禊ぎをした後、綱越神社で祓の儀を受けてから大神祭に携わるといいう重要な役割を担いました。国道169号から大神

前に、まず綱越神社にお参りする人もいます。7月30、31両日は「おんばら祭」。この例祭は夏を無事に過ごすことを祈る「夏越の祓」の祭典です。社名の「綱越」は「夏越」が転訛したとされ、「夏越の社」とも言われ

の輪が飾られ、参拝者は罪や穢れを人形に託して、茅の輪をくぐります。本殿は、江戸時代後期の造営です。春日大社(奈良市)に代表される建築様式で、間口が一間(約1・8㍎)の「一間社春日造」です。東の三輪山を向いており、祓戸大神が、大神神社の境内全体を静かに清めているのです。(奈良まほろばソムリエの会員 坂口隆信)